胃 X 線検査について

1.食事　　：検査前日の夜 9 時以降検査終了までの食事（朝食含む）・飲酒は
しないでください。

◇水は夜間は飲んで差し支えありません。起床後から検査の 2 時間前までは、200ml 以内の飲水は可能です。夏季に受けられる方は熱中症に十分ご注意ください。
◇水以外（お茶・スポーツドリンクなど）は避けてください。
◇検査終了までは、タバコもひかえてください。

2.薬　　：検査当日の内服について

✕　糖尿病の方・・・・・受診前は、薬の服用やインスリン注射はしないでください。
使用した方は検査ができません。

○　心臓病、高血圧の方・・・・・朝食はとりませんが、薬は検査開始 2 時間前までに、
200ml 以内の水で必ず飲んでください。
内服をしていない方は検査できない事があります。

※薬の服用等について不安のある方は、かかりつけ医などにお問い合わせください。

3.検査の方法：バリウムを使用した胃 X 線撮影をします。

◇初めに、発泡剤とバリウムを飲みます。検査終了までゲップは我慢してください。
◇胃の粘膜にバリウムを付着させるため、技師の指示に従って、硬い撮影台の上で体を回転したり左右に動いたりします。また、手すりを握り頭部が下がった状態での撮影も行います。ご協力をお願いします。

下記の方は検査を受けられません。

① 妊娠中および妊娠していると思われる方（授乳中の方は、当日、必ずお申し出ください）
② バリウム製剤に対し、過敏症(じんましん、息苦しさ、手足が冷たくなる等)の既往症のある方
※初めての方で、アレルギー（薬、食品等）のある方
③ 過去 2 か月以内に大腸ポリープを切除された方
④ 過去 1 年以内に胸・腹部の手術をされた方　**主治医の許可がある場合を除く**
⑤ 腸閉塞を 1 年以内に起こされた方、腸閉塞を繰り返す方、腸閉塞の手術をした方
⑥ 腎臓病（人工透析）など水分制限を受けている方
⑦ 過去 1 年以内に心筋梗塞や脳梗塞の病気を発症した方
⑧ 便秘症の方（検査前 72 時間以上排便の無い方など）
⑨ 健診当日の収縮期血圧が 180mmHg 以上、または拡張期血圧が 110mmHg 以上の方
⑩ 上記の「3. 検査の方法」に記載されている動作をご自身で行えない方
⑪ ペースメーカー及び除細動装置を装着している方
⑫ インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご自分で取り外せない方
⑬ 体重 130 kg以上の方（装置の重量制限のため）

胃・十二指腸の治療中または経過観察中の方は、かかりつけの医療機関で受診をお願いします。

※ 当日の問診により、アレルギーのある方や体調不良の方などは受診できない場合があります。

体に機器を装着されている方へのご留意事項

・ペースメーカー、埋め込み式除細動器（ICD）をご利用の受診者様
・インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご使用の受診者様

＜ペースメーカー、埋め込み式除細動器（ICD）をご使用の受診者様＞

ペースメーカー、埋め込み式除細動器（ICD）は、メーカーによる試験において放射線の照射を一定時間以上受けることで誤作動を起こす危険性があることがわかっています。
そのため、ペースメーカー、埋め込み式除細動器をご使用の受診者様は胃 X 線検査、CT 検査、マンモグラフィー検査を受けることができませんのでご注意ください。
ペースメーカー、または埋め込み式除細動器をご使用されている受診者様はあらかじめスタッフにお申し付けください。

▲ペースメーカー

▲リードレスペースメーカー

＜インスリンポンプ、持続グルコース測定器をご使用の受診者様＞

インスリンポンプ、持続グルコースモニタ測定器の両機器は、胸部Ｘ線、胃部Ｘ線、ＣＴ、マンモグラフィー検査を実施する際には取り外していただく必要があります。
取り外しができない場合は検査中止となります。
機器によっては医療者による取り外しが必要な機器がありますが、当クリニックでは医療者による取り外しは行っておりません。あらかじめ主治医に相談の上、機器を外していただくようお願いいたします。
ご自身で機器の取り外しを行う受診者様は交換用をご持参ください。
受診日程等は機器の交換時期とあわせて受診していただくことをお勧めいたします。事前に主治医とご相談の上お決めください。

胃Ｘ線検査安全基準簡易一覧

消化管疾患	腸閉塞、腸ねん転の既往	原則的に不可 但し主治医の許可があれば可
	炎症性疾患	潰瘍性大腸炎、クローン病の治療中は不可
	上部消化管疾患	潰瘍、急性胃炎の治療中は不可
	消化管手術の既往	手術後１年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
	大腸ポリープ	過去２か月以内に切除した場合は不可
	大腸憩室	憩室炎なければ可
	便秘	３日間排便なければ不可
	下痢	炎症性腸疾患、感染性腸炎が疑われる場合は不可
循環器疾患	虚血性心疾患	１年以内に発作があった場合は不可
	心不全	水分摂取制限ある場合不可
	心疾患術後	手術後１年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
	ペースメーカー・ICD	不可
	高血圧	１８０/１１０mmHg 以上は不可
	大動脈瘤・解離（胸・腹部）	主治医の許可があれば可 但し、当日の問診、検査等で腹部大動脈瘤が 40mm 以上ある場合は不可
呼吸器疾患	喘息	発作時は不可 頻繁に発作がある場合も不可
	呼吸器疾患	在宅酸素療法の方は不可
	手術の既往	手術後１年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
脳血管障害	脳血管障害	１年以内に発作があった方は不可
	頭部手術の既往	手術後一年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
	脳圧亢進でシャント中	可
	認知症	理解困難がある場合不可
	てんかん	１年以内に発作があった場合は不可
運動障害	麻痺、疼痛など	体位変換が困難な場合不可
	手術の既往	手術後１年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
	椎体、じん帯など治療中	体位変換が困難な場合不可
	体型	１３０キロ以上の場合安全を確保できないため不可
腎疾患	透析中	不可
	慢性腎疾患	水分摂取制限のある場合不可

糖尿病	経口血糖降下剤、インスリン	検査当日使用した方は不可
	インスリンポンプ、リブレ等	ご自分で外せない方は不可
その他	妊娠またはその可能性	不可
	誤嚥の既往	既往がある方は不可
	アレルギー	バリウム、発泡剤でアレルギーがある場合不可
	メニエール病	当日の状態で判断
	胸、腹部手術の既往	手術後１年以内は不可 但し主治医の許可があれば可
	飲水摂取	2 時間前まで２００㎖以内の水であれば可